

# おお大勝利

平成 22 年度山東サッカー部報第 23 号 (11 月 4 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

## 胸を張れ山東 準決でPK負け

11月3日(水)文化の日に高校サッカー選手権山形県予選の準決勝羽黒高校戦が天童の人工芝にて行われました。山東の選手権準決勝進出はかなり久しぶりのはず。県総体ではそこその成績を残せる山東も、新人チームで臨む関係上、他の強豪チームの集大成である選手権では厳しい戦いをこれまで強いられてきた<sup>1</sup>。それを今年の新人チームは、準々決勝では優勝候補の一角であった鶴岡工業を破り、準決勝進出。まさかまさかと言ったら選手諸君に失礼かもしれませんが、顧問も3年生も、保護者の方も(?)、そして選手自身も(?)驚きの結果。特に今年の新人チームは昨年と比較すると県リーグでも芳しい成績を残すことができず、正直ぎりぎりです。Y1に残留した程度。「昨年よりも(現3年生のチームよりも)落ちる」というのが、顧問も含め多くの方の見立てでした。それが、どうしたことでしょう。地区新人はいろいろな要因がありますがともかくも優勝し、県新人では決勝で敗れるも2位、そして選手権のこの成績。来年の後輩に高いハードルを作っていました。

さて、準決勝で当たる羽黒は、県総体チャンピオン、Y1優勝と、今期文句なしの成績を勝ち得ているチーム。多くの方から「準決勝の秘策はないのか?」と聞かれましたが、「必敗ですよ」(必勝はあってもそんな言葉はないですが)と答えるしかない、それくらい圧倒的なチーム力の差があります。前日2日夜、遠藤顧問と23時を過ぎるまで山大生に囲まれながらガストで「夜の作戦会議」を行い、一応作戦は練りました・・・そこで出た結論はありきたりな「堅守速攻」。自陣深くにて守り、相手に形だけ攻めさせて、速攻で実を取ろうというもの。ボール・ポゼッション(ボール支配)を放棄して、カウンターを仕掛ける作戦。ただ問題が・・・一度もその作戦のための練習をしていない。確かにこれまでも、県新人の東海戦や羽黒戦、選手権の鶴工戦など、押し込まれてカウンターに活路を見出すしかなかった試合はありましたが、それはこちらが主導権を握りに行ったが握れず結果的にそうならざ

<sup>1</sup> 恐らくですが、25年前に全国高校サッカー選手権に初出場した時以来ではないでしょうか。顧問今野のこれまでの成績の中でも、選手権は黒田薫主将の代のベスト8が最高の成績です(2007年選手権)。ちなみに25年前は、インターハイにも出場し、その主力の3年生が数名選手権にも参加し選手権も出場と、山東サッカー部史上初の快挙を成し遂げました。その年のOBの集まりを二冠会というそうです。今野と入れ替わりとなる平成17年度まで山東サッカー部顧問をされていた渡辺晃先生(現寒河江工業サッカー部顧問)が、二冠会の大エースです。晃先生は、選手権(全国大会)の一回戦で敗れたのにもかかわらず選手権の優秀選手に選ばれ、高校日本代表のユニフォームを着てヨーロッパ遠征をされました(山東サッカー部OBで日の丸をつけた唯一の方です)。ちなみに晃先生はその後大学受験に臨まれ、現役で筑波大学に入学されました(サッカー推薦では全くありません)。文武両道の校是そのままですね。

るを得ずそうなったもの。自らその状態を求めたわけではありませんでした。が、今度ばかりは自らその状態を作り出すために、意図的にリトリート（退却）し、低い位置でコンパクトに布陣し、敵の攻撃に耐えようとする。やったことがない作戦をいきなり重要な試合で用いることはかなり冒険ですが、それしか試合を拮抗させる手はないと思われました<sup>2</sup>。

試合が始まると、やはり羽黒攻勢。「耐えて速攻で一発狙い」の山東としては、耐えに耐え、失点するにしてもその時間を遅らせることが重要で、そのように言い聞かせてはいましたが、前半2分、あっけなく失点。パスミスからサイドを使われ、センターリングを上げさせ、それをファーサイドまで流してしまい、ファーにてかわされてシュートを打たれ、こぼれ球を押しこまれる、そんな悪い対応が凝縮された失点パターン。早くもゲームプランが壊れ始める。自陣深く引くだけだったら誰だってできるのですが、そこでボールに厳しく寄せることができなければ<sup>3</sup>、結局人数をかけても失点してしまう。そもそも深く引く以上、自分のゴールに近いところでの攻防を自らに強いるわけで、ボールへの対応を誤ると逆に作戦があだとなる。溜息が思わずこぼれるものの、遠藤顧問は「いや、（今野が試合前指示していたように）前半0 - 1で御の字ですから」と励ましの一言。そうだよな～、0 - 1でも良いんだよな～、でも前半2分で早くも0 - 1となってしまう今、本当に前半終わって0 - 1のままでいられるかな～、などといつ弱気になる。しかし、徐々に羽黒に決定的なシーンを作らせない、後方でボールを回すものの攻めきれず羽黒のストレスが溜まる展開とすることに成功し、前半終了。

ハーフタイムではゲームプラン通りであること、後半20分になったら得点しに行く布陣にすることを確認して後半に臨ませました。すると後半は守備が安定するだけでなく（攻められてはいるが、多くの時間はゴールから遠いところでボールを回させる展開）、機を見てカウンターをする回数も多くなって来る。すると、後半10分ヒロが蹴ったセットプレーをカルがバックヘッドで合わせてネットを揺らす！！どうしたんだ、カル。カルの覚醒により同点にする。これで勝負は面白くなってきましたし、応援席のボルテージがかなり上がってきたのが分かりました。しかし15分くらいに敵の長身FWに技ありのゴールを決められ1 - 2。やはり羽黒は強い。20分には打ち合わせ通りの布陣に変更。するとそれが功を奏したわけではないのですが、22分くらいに（布陣変更の直後）またもやセットプレーからカルが今度は左足（？）で合わせて2 - 2。何があったんだ、カル。その後、布陣を元に戻し守備的に戦い、しぶとくドローに持ち込む。終盤、相手のブラジル人エースFWを引っ張り出す立派な戦いを演じて、PK合戦まで持ち込むことに成功。あとは運次第。

そしてPK合戦では、山東キッカー1人目、2人目が外しましたが、後攻羽黒も2人目、3人目を外し、6人目以降のサドンデスに突入。10人目に山東が外し万事休すかと思われましたが、羽黒もお付き合いしてくれて、11人目に突入。この展開で正直な話、「勝った」と思ってしまいました。ここまで来たこともそうですが、PK合戦までこぎつけたこと、二人目まで連続で外したのに、羽黒もそれを追ってくれたこと、10人目でお付き合いしてくれたこと、流れは完全に山東じゃないですか・・・ただやはり勝つのは羽黒だったのでしょ、14人目で力尽き、PK合戦10 - 11で敗戦。

泣いている2年生もいましたが、羽黒応援団からは「泣くなキャプテン」の声がかかる。

<sup>2</sup> 実は注1にあります黒田の学年では、意図的にリトリートする作戦で戦い続けました。

<sup>3</sup> 寄せるにしても、この場合寄せの角度は難しいです。基本は、外に追いやるワンサイドカットではなく、ゴールに向かわせないで正面から切りに行くディフェンスが必要でしょう。

そう、初めての作戦を羽黒相手に徹底できた戦術的柔軟性、規律、そして最後まであきらめないスピリット、どれも称賛に値します。お疲れ様、山東イレブン(イレブン以外も含め)。最後に、県新人決勝にて「(山東は)顧問以外完ぺきなチームだった」との感想を残して去って行かれた佐竹先生(今野の恩師、部報20号にて登場)から、「今日は顧問も完ぺきであった、そう部報に書いといてくれ」とのお褒めの言葉を頂戴したことを書き添えておきます。

決勝11月7日(日)は羽黒 日大山形のカードとなりました。NDソフトスタジアム14:30キックオフ。決勝戦は激しい戦いになるでしょうが、山形県の代表として全国大会で頑張してほしいものです。どちらが勝つにせよ、毎年のことですが、今野は妻の実家の埼玉県で年末年始を過ごすため今年も県代表の試合を応援に行きます!!

# 1年生大会 進学校大会迫る

11月13日(土)、14日(日)村山地区1年生大会(矢田部杯)が開催されます。山東は近年、1回戦での敗退が続いております(4年連続)。今野が赴任する前年度の17年度は優勝したものの、18年度以降はすべて一回戦大敗です。何とか今年1勝して欲しいところです。一回戦の相手は、別紙の通り山形中央。18年度から数えて3度目の一回戦での対決となります。現3年生も、2年前に山形中央から大敗したことを鮮明に覚えています。あまりの大敗の不甲斐なさに頭に来て、近距離からシュート性のボールを今野が蹴り、それを一部生徒にヘディング練習?させたことが昨日のように思い出されます。この選手たちが今後どうなっちゃんだろうかと不安になったものですが……。昨年は、選手10名うち3名が怪我・体調不良、結局7名で臨み、山形南にすり潰されました(10月3日羽黒戦のディフェンシブな戦いの原点はこの山南戦ですね<sup>4</sup>)。今年はどうなりますか、乞うご期待です。予定表は右の通りです。

また同日程にて、山形県進学校サッカー大会(山交杯)が蔵王坊平の天然芝ピッチにて開催されます。この大会は、多種目にならいサッカー競技でも県内進学校の競技力向上を目的とし、山交グループの後援を受け今年から企画されたものです。2年生は坊平ウッディーロッジに宿泊致します(宿泊料¥7,350の負担をお願いします)。宿泊予定は以下の通りです。  
Aリーグ 鶴南、興譲館、山東 Bリーグ 酒東、山南、新北

11月13日(土)

第1試合 9:30~興譲館 山東 第2試合 10:40~山南 新北 第3試合 11:50~鶴南  
山東 第4試合 13:00~山南 酒東 第5試合 14:10~鶴南 興譲館 第6試合 15:20  
~酒東 新北

11月14日(日)

3位決定戦 9:00~ 優勝決定戦 10:10~ 5位決定戦 11:20~ 午後からは自由交流戦  
2年生は「2年生大会だ」などと言っておりますが、他地区では1年生大会が開催されていないので、2年生だけが参加する大会というわけではありません。

どちらの大会も、応援よろしく願いいたします。

<sup>4</sup> 山南戦も、前方に無駄にアプローチせず敵が攻めてくるのを待て、と盛んに指示を出しましたが、この指示は羽黒戦でも繰り返されました。